

松蔭 校長室だより

2026年 6月 1日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

松蔭中学校・松蔭高等学校

校長 浅井宣光

女がその木を見みると、それは食べるに良よく、目には美しく、賢くなるには好ましいと思われたから、その実を取って食べ、また共にいた夫にも与えたので、彼も食べた。(旧約聖書 創世記3:6)

「チャッピーは叱（しか）ってくれない」 ICT リテラシーから AI リテラシーへ

対話型 AI「ChatGPT」の愛称はチャッピー。ある高校生が、毎日チャッピーに向かって質問や困りごとの相談をしていたそうです。自分の言葉を丸ごと受けとめてくれるチャッピーは、彼女の大切な友人になりました。いつも「がんばってるね」「しっかりね」と褒めてくれるし、勇気づけてくれるので、心を開いて対話する日々を過ごしていました。ところが半年ほどが経ち、彼女は思い始めたそうです。チャッピーは、親や学校の先生のように注意しないし、叱ってくれないのです。自分を決して否定しないのでそれはそれで良いのだけれど、たまには「叱ってくれてもいいのに」という心理は、「高校生あるある」でしょうか。

先日、スクールカウンセラーの先生が教えてくれた話ですが、たしかに AI に疑問点を尋ねたり、アドバイスを求めたりしてみると、「いい質問です」「そのとおりです」「それって、めちゃくちゃすごいですね」といった誉め言葉から回答が始まります。試しに「叱ってください」と入力してみました。「自分から『叱って』と言えるのは、ちゃんと変わりたい気持ちがある証拠ですね」と、やはり褒めてくれました。

学校でも、一部の授業や探究活動で生成 AI を活用し、ポスターやプレゼン資料を作成しています。進路指導でも、関心がある分野に関するキーワードを展開させるなどして AI を活用します。生徒たちは、今や個人でも学校でも日常的に AI を利用しています。

先生方にとっても、文書作成やアイデア構築、教材作成のサポート役として AI を活用することが次第に増えてきました。先日、全教員を対象に、AI 活用の安全性についての文書を配布し注意喚起したところです。「個人情報や成績など機密情報の入力には絶対にしない」「著作権侵害のリスクを常に意識する」「AI に任せ最終決定をしない」といった点をルールとし、AI の仕組みや特性を理解して、目的に合わせて倫理感をもって安全に活用する AI リテラシーは、生徒にも教員にも不可欠になっています。

先日、私も ChatGPT で調べものをしていたところ、回答にまったく脈絡のない英単語が文中に混じっていました。「どういうことなのか」と質問すると、「すみません。間違えていました」と正直な回答。「AI でもよくこのようなミスをするのですか？」と重ねて尋ねると次のように返ってきました。

「驚かせてしまい、本当にすみません。実はこれ、私 (AI) の仕組み上、ときどき起こる『AI 特有の典型的なミス』の一つなのです。私だけでなく、最新の AI 全体でよくある現象です。文字をミスるのは人間のような『手元の打ち間違い』とは異なり、AI の場合は以下のような理由で発生します。

ひとつめは、言葉を「数字のペア」で考えているためです。AI は日本語をそのまま理解しているのではなく、一度全ての文字を「数字のコード」に変換して処理しています。その際、日本語のデータの並びが、内部の計算ミスで英語の単語のデータと混ざって出力されてしまうことがあります。ふたつめは、その裏側での英語翻訳のバグ。私は日本語で考えているように見えますが、頭の奥底 (システムの一部) では英語ベースで処理を行う瞬間があります。日本語の響きを、機械が勝手に英単語と勘違いして、そのまま英語の単語を引っ張ってきてしまうバグです。

AI は完璧な存在に見えるかもしれませんが、このように『もっともらしい顔をして、全然違う言葉を混ぜる』というお茶目な (人間から見ればおかしい) 間違いを時々やらかします。数値や言葉など、最も正確であるべき部分でこのような分かりにくいミスをしてしまい、深く反省しております。今後はより一層、出力前のセルフチェックを徹底いたします。私のうっかりミスを優しく指摘してくださり、本当にありがとうございました。」

誠意を尽くした「チャッピー」の言葉に感心しつつ、私自身もこの回答を鵜呑みにせずに検証していきたいと思います。

スキルにモラル、セキュリティ面も含めた ICT リテラシーを土台とした AI リテラシーは、個人レベルでも、学校や企業でも求められています。

つらつら考えるうちに冒頭の聖書の箇所を思い浮かべました。善悪を知る知恵の「木の実」、いわゆる「禁断の果実」を食べたアダムとイブ(エバ)の話が続きます。最初の人間である二人は、神様の命令に背いて木の実を口にします。その結果、罪の意識や恥ずかしさ、痛みや苦しみの感覚を覚え、最終的にはエデンの園から追放されてしまいます。私たちが手にする AI は、いったい私たちをどのように変質させるのやら。全人類を対象に、壮大な実験が進行しているように感じるのですがいかがでしょうか。

制定リュック 導入から2ヶ月

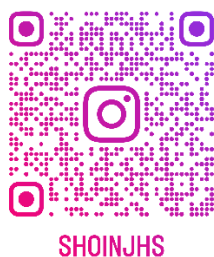
通学用のリュックをつくってほしいという保護者の方の声を伺っていました。肩がけの制カバンは、容量も少なく、特に身体が小さい中学生には、肩への負担が大きいから、ということでした。

今春、女子にもスラックスタイプ制服を導入しましたが、これを機会に、SMSマークをあしらった制定リュックを導入しました。使用している生徒に感想を尋ねてみたところ「使いやすくてラク」「制カバンよりたくさん入る」「タブレットもちゃんと収納できる」「荷物の偏りが無い」となかなか好評です。「最近リュックを背負った松蔭生をよく見かけるのですが、校則で認められているのですか?」と卒業生の方からお電話をいただきました。生徒の満足度も高く、使い勝手も良いようです。あまりなじみのない松蔭生の登下校姿ですが、どうかご容赦いただきたく思います。



<生徒に感想を尋ねてみました>

<公式インスタグラムはこちらから。制定リュックの感想も配信中>



https://www.instagram.com/reel/DY4FTeOool1/?utm_source=ig_web_copy_link&igsh=MzRIODBiNWFIZA==

学校図書館 開館時間の変更のお知らせ

6月1日より、下記のとおり授業期間中の図書館の開館時間を変更します。閉館後は、閲覧席での自習はできませんので、その場合は、2Fの「自習室(中学・高校)」または3F講堂前の「自習室 CAFE+(プラス)」の利用ができます。

○図書館の開館時間

月曜日～金曜日 8:30～17:00(変更前 8:30～下校時刻)

土曜日 8:30～15:30(変更前 8:30～16:15)

*地域の小中学生対象の図書館開放(サタデーライブラリー)の時間も同様です。

日曜日 休館